

# 城南SSH

月刊

福岡県立城南高等学校  
スーパーサイエンスハイスクール  
活動報告紙

令和4年度7月号  
SSH部発行

## 第2学年 学校設定科目 ESD 探究フィールドワークについて

2年生のESD探究では6月15日に第1回、7月13日に第2回のフィールドワークを実施しました。午後の授業2～3時間を使って、90班が、各々の立てた問いを解決するために研究を進めています。

色眼鏡を作成し周りの色で体感時間が変わるのか調査したり、シャトルランやホラー映画を見たときの心拍数の変化を実際に実験したりと、屋内外を問わず様々な場所で実験や調査を行いました。自分たちで仮説を立てるため、予想通りの班もあれば、全く違う結果が出るなど様々な班があり、各々が試行錯誤しながら自分たちの問いと見つめ合っていました。このように自分たちで計画し実験や調査をすること1つ1つが大切な学びであり、成長に繋がる経験です。話し合いで互いに意見を出し合いながら何かを作り上げていくことは、課題研究だけでなく、将来、社会において必要とされる力です。課題研究を通して、また一步成長してくれることを期待しています。9月には第3回のフィールドワークも予定しているので、これまでの反省を生かし、頑張ってもらいたいです。



化学室で実験！



被験者になってテストを受ける準備



お手製色眼鏡を使って実験！

## 理数コース 第1学年 海洋生物観察実習・事前指導

7月8日(金)の5～7限に、水産大学の阿部先生、南條先生をお招きし、海洋生物観察実習の事前指導を実施しました。実習場所である水産大学の前海(吉見湾)には、アマモ場が広がっています。アマモとは、波が穏やかな河口に近い入江や湾、港の砂地上の水深0～5mに生息する海草で、そのアマモがつくるアマモ場は多くの生物の住処になっています。今回の講義では、アマモや、アマモ場の役割について詳しく説明していただき、実習で必要になる基礎知識を身につけることができました。また、実習で調査する内容や、調査方法、注意点などについても教えていただき、実習に対して具体的なイメージをもつことができました。生徒は講義の中で生じた疑問点について質問したり、先生方からの問いかけに挙手して答えたりと、終始楽しそうに、積極的な姿勢で事前指導に臨んでいました。今後は8月に実施される実習をより充実したものにできるよう、しっかりと準備を行っていきます。



講義の様子



たくさんのサンプルを見せていただきました。